

■ 気がついた時にすみやかに受診をしてほしい症状（必ず確認してください！）

免疫チェックポイント阻害薬による症状は、種類や起こる時期が様々で早期発見・早期対処が重要です。以下は当院で起こった事例の一部です。

重度の皮膚症状

- 上半身全体など 広い範囲の発疹
- 粘膜疹（口、陰部など 粘膜のただれ）
- 水ぶくれ、血のかさぶた、発熱 など

重症筋無力症・筋炎

- 飲み込みにくさ
- まぶたが下がって開かない
- 突然の筋肉痛、脱力感

間質性肺疾患

- 咳、動悸
- 少し動くと息切れがする
- 発熱

1型糖尿病

- ひどいだるさ（ぐったり感）
- 食欲が全くわからない
- やたらと水を飲みたくなるほど
のどが渇き、頻繁におしっこに行く

大腸炎

- 血便や粘液便
- 持続する下痢、もらすほどの水便
- 吐き気、嘔吐、腹痛、発熱を伴う

治療前と比較して、症状がひどくなった・つらいと感じる症状が出てきた場合には、すみやかに受診してください。
上記以外でも「よくわからないが、なんだか調子が悪い」ときも同様です。

手稲溪仁会病院 電話番号 ☎ 011-681-8111（代表）

■ 次回受診時に知らせてほしい症状

- 疲れやすさ
- むくみ
- かすみ目やキラキラしたものが見えるなどの目の異常が続く など